
短編詰め合わせ（２）

夢乃良

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編詰め合わせ(2)

【Nコード】

N1442D

【作者名】

夢乃良

【あらすじ】

某所で出されていたお題を元に作った2作品です。1つめは「銃」「子供」「流れ星」2つめは「外国車」「路地裏」「林檎」

1. 北と南で

ぼうや、何を見てるんだい？

ああ、流星群か。きれいだねえ。

今年もそんな時期なんだねえ。

星見ついでに、面白いおとぎ話を教えてあげようか。

北極と南極はわかるかい？

ああ、馬鹿にしたんじゃないよ。空にも北極と南極があるんだよ。

空の北極と南極にそれぞれ銃が上手いガンマンがいるんだそうだよ。お互いソレを聞いて驚いた。自分が一番だと思ってたからね。

どうにかして空の北と南、どっちが上か勝負がしたくなったんだ。でも、悲しいかな二人とも北と南、それぞれの場所から移動はできなかつたんだよ。

腕の立つガンマンといえどもまだ子供だったからね。

両親は空の北と南の神様だ。ダメ、といわれてしまっではどうしようもない。

ソレで二人は手紙を何度もやりとりした。

そして決まった勝負方法は「どっちが沢山撃てるか」だったんだ。

何を沢山って？

空の北と南からこの星に撃つんだよ。「流れ星」という弾をね。

そして他の人にどっちが多いか確認してもらおうとしたんだよ。

だから、流星群は星の北と南でどっちが多く撃てるか争ってる二人の神様の子供のドンパチなのさ。

まだまだ決着はつきそうにないんだけどね。

流星群は科学的なモノがあるって？

いいじゃないか、おとぎ話なんだから。

しかしいいものだね

地面から見上げる銃弾も。

2. 或いは

珍しいタクシーに乗った。

黒塗りの個人タクシーだ。その辺はいつも通りのような感じ。

ただ、乗りこんで行き先を告げてから気がついた。いわゆる「ガイシャ」というやつだ。

「珍しいですね。外車ですか？」

つい、運転手に話しかけてしまいたくなくなった。

「ええ、燃費もあまり良くはないんですけどねえ……」

ミラー越しに苦笑いの運転手の顔が見えた。

運転手と話し込んで、時間を忘れた。

そろそろつく頃合いだったかと窓の外を見れば、見たことのない町並み。

地面は見慣れたアスファルトではなく石畳に。

そして車はそのまま路地裏へと勝手に進んでゆく。

「運転手さん……」

声をかけようとしたが何故か声は出なかった。

路地裏の途中で音もなく車が止まり、ドアが開いて。

何者かが乗り込んできた。

大きな紙袋を抱えていて、顔は見えなかったがブロンドの長い髪が日の光を反射していた。

紙袋の中身は大量のリンゴ。

急発進した車の反動で袋からこぼれたリンゴを拾い、手渡そうとし

た。

「お客さん、お客さん！つきましたよ、お客さん！
運転手に揺り起こされた。」

いつの間にか眠っていたらしい。

気付けばいつもの町並みだが、手の中にはこぼれたリンゴ。
夢か現か・・・或いは、車の記憶を見たのかもしれない。

(後書き)

去年書いたモノにちょっと手を加えてみました。
個人的感覚としては再版・・・というところでしょうか

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1442d/>

短編詰め合わせ（2）

2010年12月9日17時53分発行